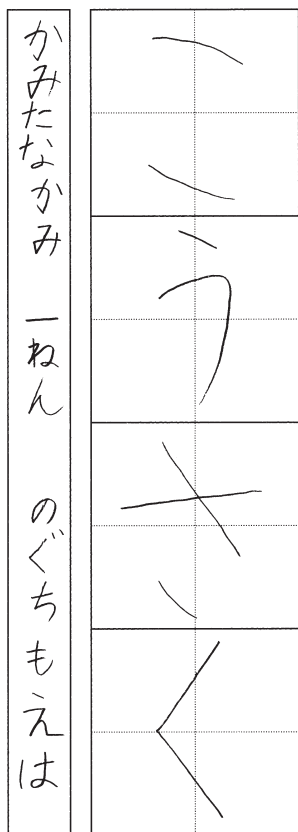


小 1 年

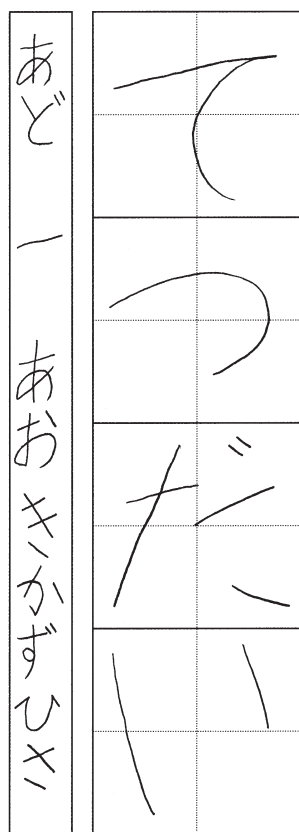


滋賀県書教育研究会長賞

野口萌葉

ていねいにきれいにせんがひけています。のびやかでやさしいさくひんになりました。

小 1 年

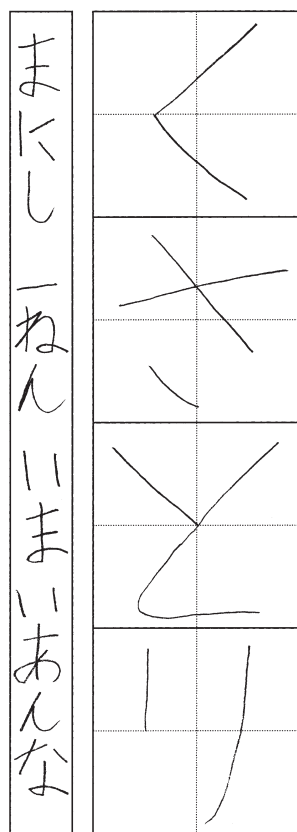


京都新聞賞

青木和寿

のびのびとじしんをもってかけています。名まえもきれいにかけました。

小 1 年

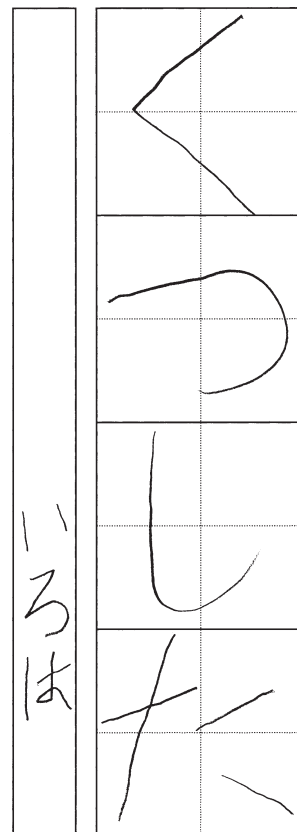


草津市教育委員会教育長賞

今井杏葉

やさしいタッチで、字のかたちもうつくしく、いつまでも見ていたいさくひんです。

幼稚園

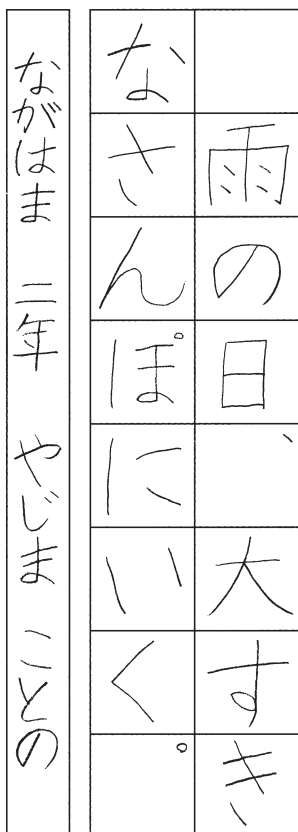


京都新聞賞

山本彩葉

よつつのもじをのびやかに、まっすぐにとおしてかけました。「し」のはらいがとてもきれいです。

小 2 年



滋賀県書教育研究会長賞

矢島心暖

一本一本の線がさいしょからさいごまですっきりとしていて、うつくしく書けました。

小 2 年

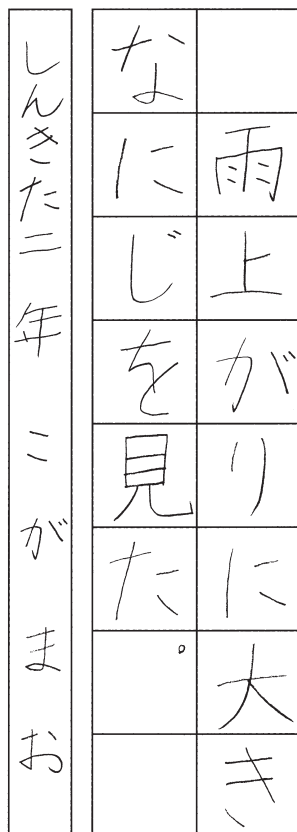


京都新聞賞

水口菜珠

一本一本の線が、とてもしっかりとひけていて、どうどうとしたさくひんになりました。

小 2 年

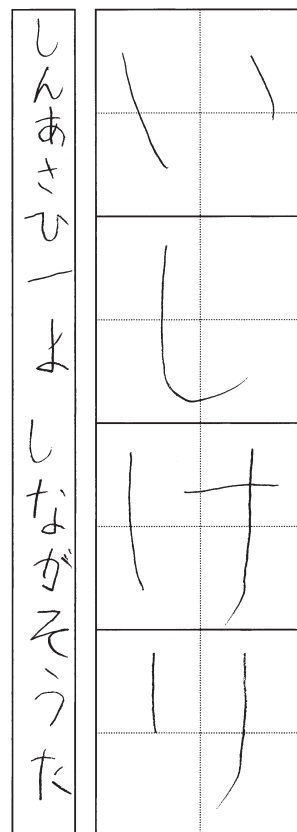


草津市教育委員会教育長賞

古我葉央

やわらかいえんぴつのタッチで、ゆったり、うつくしくとのっています。あざやかです。

小 1 年



滋賀県書道協会賞

吉永壮汰

力を入れすぎずに、かるいタッチでせんがひけています。もじのかたちもスッキリときれいにかけています。

小 3 年

上田上 三年 野口唯七		
	み	五
	ど	月
	り	の
	の	日
	草	ざ
	木	し

滋賀県知事賞

野口唯七

漢字・平かなの字形がしっかりしていて全体のバランスがととのっています。名前まできれいに書けた秀作です。

小 2 年

中央ニねん 上田 ちはる	一	
	わ	
	と	
	り	

滋賀県書道協会賞

上田千晴

大きく正かくにどうどうと書くのは、本とうにむずかしいですが、見ごとです。

小 2 年

しが 二年 やぎしなつめ	小	
	犬	花
	と	を
	さ	つ
	ん	み
	ぽ	な
	す	が
	る。	ら

滋賀県書道協会賞

矢岸夏芽

えんぴつの先をするどくつき立てながら、ゆったりと大きく書くことができ、りっぱです。

小 2 年

ぎ王 二年 ふくたに かける	な	
	に	青
	じ	い
	を	空
	見	に
	つ	き
	け	れ
	た。	い

滋賀県書道教育研究会賞

福谷天翔

「青・空・見」などのかん字がうつくしくととのい、とくによこ線のひきかたがすばらしいです。

小 3 年

新旭 三年 ひろ田々や		
	み	五
	ど	月
	り	の
	の	日
	草	ざ
	木	し

滋賀県書道協会賞

廣田紗耶

字形に気をくばり、ていねいに書いています。特に二行目のひらがながすばらしいです。

小 3 年

上田上 三年 野口七歩		
	み	五
	ど	月
	り	の
	の	日
	草	ざ
	木	し

滋賀県書道教育研究会賞

野口七歩

日ごろの学習を自分の力とし、まよいない書きぶりです。おさえすぎず同じえん筆のこさも大変美しい作品です。

小 3 年

の東 三年 堀川りな	て	
	話	自
	し	分
	合	の
	つ	町
	た	に
	。	つ
	い	

京都新聞賞

堀川莉奈

大きなかまで自分の書きぶりに自信を持ってどんどん書いている様子が見えてくるようです。見ごたえのある堂々とした作品です。

小 3 年

マ西 三年 松村みく		
	も	な
	ん	の
	白	花
	ち	ば
	よ	た
	う	け

滋賀県教育委員会教育賞

松村美玖

はこいっばいにのびのび書けています。おさえすぎず、名前まで同じ調子で書き上げていてすばらしいです。

小 4 年

小津四年 荒川歩実	屋	
	根	温
	に	か
	ふ	い
	り	日
	注	ざ
	ぐ	し
		が

一画一画に気持ちをこめて、ていねいに書き上げました。漢字とひらがながバランスよく書けています。

京 都 新 聞 賞

荒 川 歩 実

小 4 年

青柳 四年 志村日向子	の	
	手	今
	を	日
	引	か
	い	ら
	て	一
	歩	年
	く。	生

のびやかなすっきりとした線です。名前の最後まで気持ちをこめて書き切りました。

滋賀県教育委員会教育長賞

志 村 日 向 子

小 3 年

旭南三年 古田まりな		
	野	お
	山	い
	を	し
	わ	い
	た	空
	る	気

中心をそろえ、漢字とひらがなのバランスが良く、名前まで、とてもいねいに書けています。

滋賀県書道協会賞

古 田 麻 璃 菜

小 3 年

中おう三年 本原えり子		
	み	五
	ど	月
	り	の
	の	日
	草	ざ
	木	し

すっきりとした書きぶりがみ力的な作品です。特に「はらい」の美しさが目を引きます。

滋賀県書道協会賞

本 原 瑛 里 子

小 4 年

旭南四年 清水咲結	光	
	が	五
	ま	月
	ぶ	晴
	し	れ
	い	
		朝
		の

美しく安定した線で、名前の最後まで書き切りました。堂々とした落ち着いた作品です。

滋賀県書道協会賞

清 水 咲 結

小 4 年

貴生川四年 山崎亜友子	く	
	に	友
	行	だ
	き	ち
	ま	と
	し	海
	た	水
		よ

中心をそろえ、字形も整えて美しく仕上げています。おさえすぎずすっきりとした線で書けました。

滋賀県書道協会賞

山 崎 亜 友 子

小 4 年

せ田東四年 加とう夕葵	ホ	
	ト	時
	ト	鳥
	ギ	と
	ス	書
	と	い
	読	て
	む。	

横画の多い題材に挑戦しました。右上がりの角度をきれいにそろえ、美しく仕上げてました。

滋賀県書道教育研究会賞

加 藤 夕 葵

小 4 年

の北四年 木下こうや	生	
	活	地
	を	球
	心	に
	が	や
	け	さ
	る	し
		い

のびのびと鉛筆が動き作品全体に筆勢を感じます。生き生きとした線で書き切っていて見事です。

滋賀県書道教育研究会賞

木 下 昊 哉

小 5 年

立入	も	法	
五年	、	は	昔
原田凜乃	意	科	から
	外	学	伝え
	に	の	られた
	合	発	技術
	理	達	や
	的	した	方
	な	今日	
	もの	で	
	だ		

京都新聞賞

原田凜乃

漢字とひらがなの調和のとれた文を選び、リズムにのってきれいに最後まで書いています。

小 5 年

物部	川	く	
五年	の	星	夜空
道木成美	う	の間	を見
	に	を	上げ
	流	、	ると
	れて	白	、
	行	い	また
	った	雲	た
	た	が	
		まる	
		で	

草津市長賞

道木成美

整った字形で、筆圧も安定していて、最後まで気をゆるめることなく書ききり、すばらしい作品です。

小 4 年

馬淵	に	
四年	な	高
大堀藍楽	み	校
	だ	野
	を	球
	流	の
	す	物
		語

滋賀県書道協会賞

大堀藍楽

点画の角度や方向に注意をはらいながら、画数の多い題材をていねいに書き切りました。

小 4 年

笠縫	は	
四年	心	幸
池内みお	の	せ
	中	の
	に	青
	住	い
	む	小
		鳥

滋賀県書道協会賞

池内美緒

一画一画に気持ちをこめ、ていねいに書きました。全体の調和がよくとれています。

小 5 年

祇王	滋	
五年	賀	大
寺村あかり	の	き
	宝	な
	物	び
	だ	わ
		湖
		は

滋賀県書道協会賞

寺村あかり

ゆっくりとていねいな動きで書いています。作品からきれいに書くという気持ちが伝わってきます。

小 5 年

長浜	す	も	
五年	た	昔	漢
後藤茉緒	めに	に	字
	作	、	は
	ら	中	今
	れた	国	から
	文	の	三
	字	言	千
	です	葉	年
		を	以
		書	上
		き	
		表	

滋賀県書道協会賞

後藤茉緒

多字数の文を、一字一字着実に書きすすめ、中心も良く整い、すっきりとした作品に仕上がっています。

小 5 年

草津	大	ど
五年	河	ん
本永航大朗	に	な
	流	川
	れ	も
	つ	最
	く	後
		は

滋賀県書道協会賞

本永航大朗

筆圧も整い、堂々とした大きな動きで書いていて立派な作品です。名前もとてもきれいに書いています。

小 5 年

新旭北小	考	
五年	え	自
梅野冴花	を	分
	表	の
	現	気
	す	持
	る	ち
		や

滋賀県書道協会賞

梅野冴花

のびやかな美しい線できれいに書いています。はねる方向も良く考えて自分のリズムで書いています。

小 6 年

城南 六年 大森結芽		
	新	印
	し	象
	い	的
	作	な
	品	画
	集	家

京 都 新 聞 賞

大森結芽

文字の中心をしっかりとえ、線のかたむきや間かくを見事にそろえて、すっきりと美しい作品に仕上げました。

小 6 年

マ南 六年 落川温心	昔	法	も
	から	は	、
	伝え	科	意
	られた	学	外
	技術	の	に
	や方	発	合
		達	理
		した	的
		今日	な
		で	も
			の
			だ
			。

滋賀県教育委員会教育長賞

落川温心

きりりとした線質と確かな字形で、名前まで実によい調子で書けています。文字の大小がバランスよく書けています。

小 6 年

城南 六年 松環奈	夢	努
	の	力
	実	す
	現	る
	に	最
	向	高
	け	学
		年
		。

滋賀県知事賞

松環奈

線のかたむきや間かくをそろえて安定した形にし、自然なため、はね、はらいでのびやかに書けています。

小 5 年

米原 五年 三輪玲果	種	自
	は	分
	い	で
	ろ	行
	い	き
	ろ	先
	な	を
	場	決
	所	め
	に	ら
	落	れ
	ち	な
	。	い

滋賀県書道協会賞

三輪玲果

多字数の文字をのびやかな線で書かれていて、統一感があります。払いの線の最後まで、気持ちを込めて書けています。

小 6 年

物部 六年 嶋林未紗		
	新	印
	し	象
	い	的
	作	な
	品	画
	集	家

滋賀県書道協会賞

嶋林未紗

かたむきや間かくに注意してすっきりとした線で書けています。堂々として見ごたえのある作品です。

小 6 年

安土 六年 織田愛花	何	よ	変
	げ	く	化
	な	見	し
	い	る	て
	道	と	い
	ば	季	る
	た	節	の
	の	と	が
	風	共	分
	景	に	か
	も	様	る
	、	々	。
		に	

滋賀県書道協会賞

織田愛花

漢字とひらがなのバランスがよく、素直でのびやかな線です。一字一字の形がしっかりしています。

小 6 年

桐原東 六年 北川乃愛	新	印
	し	象
	い	的
	作	な
	品	画
	集	家

滋賀県教育研究会長賞

北川乃愛

一つ一つの文字の形の持ちようをしっかりとえ、力みのない美しい線で書けています。

小 6 年

旭南 六年 清水紗良	何	よ	変
	気	く	化
	な	見	し
	い	る	て
	道	と	い
	ば	季	る
	た	節	の
	の	と	が
	風	共	分
	景	に	か
	も	様	る
	、	々	。
		に	

滋賀県教育研究会長賞

清水紗良

のびやかな線で落ち着いて書けています。安定した軽い筆圧で書かれた線が心地よいです。

中 2 年

今日を捕えよ。他日を信じてはならない。(ホーレス)
自己を知ることとは真の進歩である。(アンデルセン)
芸術家にとっては一切が美である。(ロダン)
瀬田中二年 千代怜奈

草津市教育委員会賞

千代怜奈

力の抜けた美しい筆線で一貫しています。文字の大きさや行間も美しく整っています。

中 1 年

野球の熱戦 湖を周航
山頂に花畑 誠実な道
瀬田北一年加 藤 彩

滋賀県書道協会賞

加藤 彩

力強いタッチで一条乱れず書けました。文字の組み立てをよく理解し身につけています。

中 1 年

七夕。天の川。夏祭り。
熱帯夜。帰省ラッシュ。
八幡西一年 大黒花

京都新聞賞

大黒花

漢字、カタカナ、ひらがなを調和よく、美しい筆線で書けました。

中 1 年

個性の輝き 鐘が鳴る
豊かな教養 筆の穂先
立命館一年 談恵佳

草津市教育委員会賞

談恵佳

伸びやかでしっかりした筆線で堂々と書き切っています。

中 3 年

朝日 若葉の林 白黒
天地 岸边の家 集合
青山三年 木原葉乃

京都新聞賞

木原葉乃

動きの大きな行書作品です。文字の中がたいへん明るく、伸びやかに書かれています。

中 3 年

雨蛙見ゆるがごとく鳴きいけり
夕刊に夏至の句ひのありにけり
水口三年 青山咲稀

滋賀県知事賞

青山咲稀

行の中心がすっきり通り、流れるように書き上げています。特に漢字のくずし方が抜群です。

中 2 年

山川水車 永久春光
東風平和 開花成長
兄弟中二年 北川百々花

滋賀県書道教育研究会賞

北川百々花

調子よくリズムをとってさわやかに書き切った秀作。行も美しく通っています。

中 2 年

野球の熱戦 湖を周航
山頂に花畑 誠実な道
附属二年 西倉舞

京都新聞賞

西倉舞

行書らしい線のひき方やくずし方を身につけて、流れるような作品が書けました。

JR長浜駅の約200メートル南側に立つ旧長浜駅舎。建設は1882年（明治15年）で、現存する駅舎では国内最古だ。煙突や窓にあらわれたレンガが、時代の交差点を迎え舞やいだ往時の面影を伝える。 湖西中3年 高木笑梨子

文字の構成や大きさに気を配り、行をすっきり整えた秀作です。

高 1 年

作品を書くということは、ただ筆をもて書けるものではありません。何か感動をあるものから受けて、その影郷音で自分の心が動きたし、書きたいと思う幻影が頭の中に作りだされます。出来上がった書姿がはつきりとした形でないまでも見えてくるわけです。つまり…東大津高一年村田斗亜

行間がきれいに通り、筆圧も一定し、名前まで丁寧に書けています。

自立の精神 熱い意欲
豊かな知識 大きな夢
石山 一年 田島実乃里

行書体を軽くのびやかな線で書き、大きな動きでゆったりした作品に仕上げました。

高 1 年

まだあげ初れし前髪は
林檎の毛と見えしとき
前にさしたる花櫛の
花ある君と思ひけり
やさしく白き手さのべす
林檎をわれにおたへしは
薄紅の秋の寒に
人いひ初れしはじめなり
わがむらなきたわいさの
その髪に毛にかかるとき
たのしき恋の面を
君が情に酌みしかな
林檎畑の樹の下に
おのづからなる細道は
誰が踏みおめしかたみやと
問ひたまふにや
こひけれ
「初恋」馬崎藤村
伊吹高校1年 山田千陽

詩をリズム良く書き上げました。段落の書き出しに変化をつけ、余白が美しいです。

個性の輝き 鐘が鳴る
豊かな教養 筆の穂先
膳所 一年 前野弥桜

大きい文字の楷書作品を直線ですっきりと書き上げています。字形も整えた秀作です。

高 1 年

ペリシ文字の書道展があった。漢字をはじめ
いろいろな文字も芸術表現が可能なようだ。
八幡高 一年 服部華歩

軽いタッチのすっきりとした線で書かれています。漢字、ひらがな、カタカナのバランスも良いです。

高 1 年

新緑 桃源 移動 記憶
野球 神技 雑炊 精鋭
水口高校一年 内田芽依

文字の構成をよく学び一画一画、丁寧にしっかりと書かれています。

高 1 年

春風 花草香 行雲流水
春風 花草香 行雲流水
水口高校一年 吉田あかり

楷書は、直線を主に、丁寧に書かれ、行書は、のびやかな線でゆったりと書かれています。

高 1 年

滋賀県書道協会賞

谷田佳穂

真の芸術は作品の背後に人間を求める。
 天下を動かそうと思えば先ず自分から動け。
 幸福ほど人間の美しさに対する化粧品はない。
 長浜北高一年 谷田佳穂

丁寧なペンの扱いで、一画一画着実にひかれていて線は明快。形も安定感があります。

高 1 年

滋賀県書道協会賞

上田日葵

君とのラブストーリー
 それは予想通り
 いざ始まればひとり芝居だ
 ずとそばにいたって
 結局ただの観客だ
 感情のないアイムソーリー
 それはいつも通り
 慣れてしまえば悪くはないけど
 君とのロマンスは人生柄
 続きはしないことを知った
 もっと違う設定で
 もっと違う関係で
 出会える世界線
 選べたらよかった
 もっと違う性格で
 もっと違う価値観で
 愛を伝えられたらいいな
 そう願っても無駄だから
 グッバイ君の運命のヒトは
 僕じゃない辛いけど否めない
 でも離れ難いのさ
 八日市高校1年 上田 日葵

軽やかなペンのタッチで全体的に一貫した秀作となりました。

高 1 年

滋賀県書道協会賞

桧玲乃

箱根越す人もあるらし今朝の雪
 露凍てて筆に汲み干す清水哉
 水口高校一年 桧 玲乃

すっきりとした線質で漢字、ひらがなのバランスも良く、最後まで整っています。

高 1 年

滋賀県書道協会賞

櫻井亜優美

案内 特別 気候 可能 同盟 結婚
 使者 飲食 王道 音楽 教会 停止
 達成 確実 季節 登録 圧力 魚群
 堅田一年 櫻井 亜優美

二文字熟語を楷書体で丁寧にしっかりと書き上げました。余白も美しい秀作です。

高 1 年

滋賀県書道協会賞

上田乙吏

湖は美しい。水のある風景は人の心をなごませるものだが、なかでも湖はいつも静かな水をたたえて、訪れる人を魅了してきた。
 彦根総合高校 一年 上田 乙吏

漢字とひらがなのバランスを取り、文章を三行にうまく配置して堂々と書き上げた作品です。

高 1 年

滋賀県書道協会賞

小倉華奈

奥山に紅葉ふみ分け鳴く鹿の声きく時ぞ秋は悲しき
 久方の光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ
 天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山にいでし月かも
 長浜北高一年 小倉 華奈

和歌三首という難しい課題に取り組んでいます。一字一字が丁寧に書かれていて、行間が美しく安定感のある作品です。

高 1 年

滋賀県書道協会賞

國友佳蓮

完成 長所 若竹 息吹
 真理 発表 決意 実践
 長浜北高一年 國友 佳蓮

楷書の組み立て方が確実にできていて、ゆるぎのない線が名前まで一貫して引けています。

高 1 年

滋賀県書道協会賞

小玉明莉

果断と根気は人間最高の美德 ゲーテ
 知識の道は、喜びの道である ソロモン
 時間は惜しむべき親友である ワズワース
 膳所高校 一年 小玉 明莉

行の通りが非常に美しく、漢字とひらがな、カタカナの大きさの書き分けも理にかなった楷書作品です。

三浦春舞

JR長浜駅の約200メートル南側に立つ旧長浜駅舎。建設は1882年(明治15年)で、現存する駅舎では国内最古だ。煙突や窓にあしらわれたシガガ、時代の変革期を迎え華やかなど、往時の面影を伝える。石部 2年 三浦 春舞

高 2 年

整った字形、安定した筆圧、文字の
大小にも気を配り、名前までしっか
りと書ききった秀作です。

寺村葵衣

美は美意識より創造された人間の自由独創的なのみである。そしてその美は個人の生き方や情感から生み出されるものである。そのように生み出された美が文学や絵画、彫刻、書、建築など具体的な芸術の表現へ連なっていくのである。しかしこのいかなる純粋に人間の表現として考えられるようになったのは時代に対する人間の存在や個性の自覚や発展した近世以後のことである。今日ではやまやまの芸術がそれぞれの独自性を有しながら発展しているがそこはそれぞれが独立した存在ではなく、統合した形態を呈示したのである。このような物事の本源をとらえるためには統合的な観点を抜きにすることはならない。

高 2 年

長文の作品なので文字が小さくなる
中、漢字と仮名で大小の変化をつけ
一文字一文字丁寧に書き上げました。

佐々木 千紘

知照ニ「×清々如文」Love Letter
 愛樂松富校一年生六十張
 思、此は彼の空想になり輝くと
 君に生かえてよかた
 世界にだ。たとひの
 ひつりの夜まほにべくれた
 切なけれよかた
 君に生かえてよかた
 思えんれはそれよかた
 いもあはそはにべくれた
 いな松を養てくれた
 迷わず何もき捨てきた
 言葉にならなかつた
 シンに顔まで叶ふた
 夜に任せた部屋さうくまてた
 すずみ孤燈だ壊れたら上り
 思、此は彼の空想になり輝くと

高 3 年

歌詞を口ずさむようにリズムカルに書ききっています。四箇所、広めにあけた行間が効果的です。

木村優月

一般に雲紙と言へば、雲が横に棚引くように作られている料紙の事だ。これは一紙ごとに右下、左上に斜めに藍色の雲形をダイナミックに配て用いており、その斬新さは平安朝の古筆でも注目されている。また、その雲の密度の濃淡もさまざまで巧みに表情を変えている。その雲紙には微細の雲母砂子が撒かれている。

守山高校二年 木村 優月

高 3 年

すっきりとした線。漢字・仮名・カタカナと大小をつけ、楷書の字形の基礎をマスターした安定感のある作品です。

山本侑奈

若紫 空蟬 浮舟 夕顏

高 2 年

楷書と行書の書き分けをみごとに成功させた秀作です。筆圧も安定していて見事です。

永瀬 絵未里

努力を惜しまず集中できる事も才能である
他人の事をとやく言う者ほど中身は弱い。
希望は人生を成功へ導く信仰である。

高 2 年

細いけれど、けっして弱くはなく、美しくしっかりした線で書ききっています。字形も整っていて好感が持てます。

草
野
百
菜

人類の進化の過程において、直立歩行の段階に達したとき、手は身体を支える役割から解放されて、はじめは道具をつくり、生活に役立てるようになった。これが人類文化の出発点である。はじめは石を唯一の材料にして食糧を得るために必要な道具をつくた。やがていろいろな加工された装飾が加えられるようになった。そして、住居である洞穴の天井や壁面に生活をのめものを絵に描いたり、刻んだり、描いたりするようになった。新石器時代に入ると土器の製作が始まり、器の形状においても表面の文様においても比較的自由に個性が発揮できるようになった。美的な表現が顕著になる。このように、美は人類の文化のあけぼのと共に発生した。

伊達高校 三年 草野 百菜

高 3 年

快いリズムで多字数を一貫した書き
ぶりで書き抜いて見事です。行間の
空け方も適当で美しく読みやすい秀
作。

高橋朱音

小田原城の勝利を収めた秀吉は、駿府城を築いたばかりの小田原に居座り、北条氏の子孫を待たせようとしてゐる。代わつて豊臣の時代を駿府城王に描かせる。家康のころからあつたところから、東海道の要衝に位置した駿府城が、秀吉の一代に築かれたところの歴史や金匱史を見つめた。豊臣の城は示すべく家康の城を造らしたといふ。後に江戸幕府のころ、家康は晩年許軍職を離れて駿府に居り、城に不出外の家を造らしたといふ。一代の城はその村に家康を建て置いたといふ。秀吉の家を見介て置くと、世のものは万端の夢を造らしたといふ。《萬世に二度の一時、うたの夢は晩のうた》家康の時とはわかる歌に口々にあつた。天下人の野望の夢の如く去るに一時をたれる

豊田 三郎 高橋 秀吉

高 3 年

字間をやや詰め文字の底辺を揃えることで横書きの行の流れを現出させ見事です。多字数を書き抜いた努力作。

